

第100回

青森大会

全国高校野球選手権記念

# 8強出そろっ

## あすから準々決勝

◇第6日

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第6日は15日、八戸市長根、青森市営、弘前市はるか夢、六戸町メイプルで3回戦8試合を実施し、8強が出そろった。大間は東奥学園を2-1で下し、同校初の準々決勝進出。工大一は三本木を4-0で退けた。シード校の八学光星、青森山田、弘前工、弘学聖愛も8強に名を連ねた。八高専は青森に敗れた。準々決勝以降は、はるか夢球場が会場となる。16日は移動日のため試合を行わない。大会第7日は17日、同球場で準々決勝2試合を行う。（取材班）



「五所川原 八学光星」初回一死二、三塁、暴投の間に先制のホームを踏み、光星の三走近藤俊太（中央）＝長根

# 光星攻撃そつなく

## 初回到り得点勢いづく

〇：五所川原をコールドで退けた八学光星。好機で1打が出て、着実に得点を重ねての勝利に、主砲東健太郎は「初回到り得点で、勢いづくことができたと、勝因を語った。

相手投手は直球勝負で来る」と踏んだ表情。準々決勝からは、はるか夢球場にで、狙い球を絞ってハットを振った。初回一死三塁で打席が回ってきた場面でも、直球を中前に運んで2点目をもたらした。

（球審）井上、塁審↑高坂、原は三塁まで走者を進めた小田、捕手。光星は初回、近藤俊、武岡の連打で1死二、三塁から暴投の間に先制。五所川原・佐藤虎士主将（コールド負けで）「地方東の中前打で2点目を加えた。四回に武岡の二塁打などで2点、六回に長南の中前で、計3イニングを0点越え二塁打なども点を加え、点差を広げた。五所川

④⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
④	⑥	⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
⑧	⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨